

12月4日、ボランティア組織ペシャワール会の現地リーダーとして、アフガニスタンの医療や灌漑事業に尽力された中村哲氏が銃撃され死亡したという衝撃の事件がありました。世界の人々が彼の死を追悼しています。 ニューヨークタイムズ紙からの抜粋

***‘He Showed Us Life’: Japanese Doctor Who Brought Water to Afghans Is Killed’* The New York Times**

Tetsu Nakamura, 73, arrived in Afghanistan in the 1980s to treat (1) leprosy. But he changed many more lives with the (2) canal-building techniques he brought from his native Japan. (1)ハンセン病 (2)運河建設



JALALABAD, Afghanistan — Dr. Tetsu Nakamura left his home in Japan in the 1980s to treat leprosy patients in Afghanistan and Pakistan. He later found, however, that severe (3) drought was killing more people than his clinics could save. (3) 干ばつ

So he discovered a new (4) calling: irrigation. In the 2000s, adapting old Japanese techniques that required little technology, he helped (5) villagers displaced by drought build a network of canals that has (6) transformed an area of nearly a million residents. (4) 使命：灌漑 (5) 立ち退かされた村人 (6) 約100万人の住民の(不毛の) 土地を農地に変えた

“A doctor treats patients one by one, but this helps a whole village,” Dr. Nakamura had said. “I love seeing (7) a village that’s been brought back to life.” (7) (水路で) 生き返った村

On Wednesday, Dr. Nakamura was (8) attacked by gunmen while driving to work in Jalalabad, the (9) capital of Nangarhar Province, in eastern Afghanistan. Five members of his (10) organization’s staff were killed, and Dr. Nakamura (11) was wounded fatally. He was 73.

(8) 銃撃された (9) ナンガハリ州都 (10) (ボランティア)組織のスタッフ (11) 致命傷を負った

宝塚西高の英検準1級取得者は7名に増加！ 3年生4 (LAC 3)・2年生1 (LAC 1)

共通テストの英語資格試験の導入は延期になりましたが、語学においては、Speakingを含む4技能の向上を目標にすることは変わりません。高校在学中に英検2級=CEFRの言語習得レベルのB1を達成し、英検準1級=B2レベルも視野に入れて頑張ってみましょう。大人社会で評価される英語力は、B2レベルです。以下は合格者のLACの皆さんのコメントです。

●「高校2年秋から英検準1級に挑戦してきましたが、あと一步で合格できず、その原因は単語力の不足でした。解決してくれたのは、日々の学校の授業や単語テストだと思います。対策用に、単語帳「でる準パス」と過去問を使用しましたが、学校で使用する「キクタン」を完璧に使いこなせるようにすることがベースになると思います。知っている単語が多いほど、長文の内容も理解して読むことができます。英作文は、エッセーの授業があるので困ることなく、面接では、Comの授業での発表が活きます。LACコースには英語力を伸ばす機会がたくさんあるので積極的に取り組んでください。」(3年)

●「私は、大学進学でなく、塾にも行ったことがないので自己流で取り組みました。1つ目は、「パス単」をひたすら見て覚えることです。単語がわからないと話にならないのでとにかく時間をかけてください。リスニングは、いつも1日1時間英語を聞いていたので、特に対策をせず、英作文と面接は先生に教わり、先生方の力を借りてやれば、私でも合格できたので、皆さんも頑張ってください。」(3年)

●「1次対策で頑張ったのは「単語」です。「でる単」を暇があれば見ました。ただ、見るだけでは覚えられないので、わからない単語を使って、自分が覚えやすい例文を作って工夫しました。英作文にも活かせるのでいいと思います。1週間前には、ひたすら過去問を解きました。長文は慣れれば問1(語い)ほど難しくないなので、スラッシュ読みを素早くする練習をしました。絶対、設問を見てから長文を読んだ方がいいです！2次試験は、先生に面接練習をしてもらい、やばいと思って死に物狂いになればいつの間にか自信がついていました。過去問に出てくる質問すべて解答を言えるようにしておき、お風呂の中などで自問自答するなど、面接までにスピーキングに慣れることが大切だと思います。」(3年)

●「長文とリスニングは、勉強を始めるのが遅かったこともあり、ボロボロの結果でしたが、英語表現Ⅱの授業でやったエッセイのおかげで英作文は良い点数が取れたので、ちゃんと頑張ったよかったです。また、2次試験の練習では、Fatima先生をはじめ先生方に手伝っていただいた的確なアドバイスをもらったので何とか切り抜けることができました。」(2年)